ジオパーク応援団だより

第1号 | 2015.8.1

皆様方には、平素から日本ジオパーク下仁田応援団に、格別の御支援、御協力を賜り、心から厚く御礼を申し上げます。

このほど、町当局のお計らいにより、下仁田町の歴史や文化をはじめ、応援団の活動紹介、行事案内などをさせていただくため、広報しもにたに「ジオパーク応援団だより」を加えていただくことになりました。

昨年の12月に応援団が発足した際、応援団員を対象にしたアンケートを実施し、多くの皆さんからジオパークに対するイメージをお聞きしました。このアンケートでも「ジオパークは、地質に関係したもの、といったイメージをお持ちの方が多い」「地質学者による研究分野で、日常生活には関係ないと思っている」との回答をいただきました。

ジオパークの活動は、地質などを研究するだけではなく、これらの研究成果などをもとにして、下仁田町の地質や歴史・文化を見直し、下仁田町のよいところ、すばらしいところを発見し、下仁田町で楽しく心豊かに暮らすための活動－私たちの日々の暮らしそのものであり、たいへん幅広いもの－であると考えております。

たとえば、家の前の道路をきれいにするとか、下仁田町を訪れた方々に道案内をしてあげることなどもジオパークの活動であり、私たちができることをできる範囲で、気持ちよく取り組むこと、これがジオパーク活動の基本といえるでしょう。

この応援団だよりでは、次号から下仁田町の歴史や文化、下仁田町出身の人物など、いろいろなことを御紹介していくことにしておりますが、私たちの暮らしとジオパークの関わりについて、『これもジオパークの活動なのか！』といったことをお考えいただく、そのもとにしていただければ幸いと考えております。

どうぞ、皆様方には、今後とも応援団の活動に対し、更なる御支援、御協力を賜りますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

日本ジオパーク下仁田応援団
団長　里見哲夫・役員一同

応援団員募集中!!

入団の申し込み・問い合わせ先

下仁田町自然史館　　下仁田町大字青倉158-1
☎70−3070　　FAX67−5315

「下仁田ジオパークの日」

毎月20日(2をジと読み、0をオと読む語呂合わせ)を「ジオの日」としていただくよう、応援団から町長･議長･教育長･ジオパーク推進協議会長に制定要望を行いましたところ、7月14日に「下仁田ジオパークの日」を制定していただきました。

早速に要望をお聞き届けいただき、たいへんありがとうございました。深く感謝申し上げます。

この8月20日から「下仁田ジオパークの日」がスタートします。

「ジオの日」の制定を通じて、より一層ジオパーク活動に親しんでいただき、ジオパーク活動の拡大、発展をめざそうというものです。

今後、「ジオの日」での活動等について、いろいろ検討してまいりたいと考えています。

行事案内　(8月)

8/　4(火) 午前中	小坂坂峠道の環境整備 (草刈り･ごみひろい)	関係者で実施します。
8/　8(土)･9(日) 午前中	あじさい園草刈りの手伝い	集合時刻等は、自然史館に問い合わせてください
8/　9(日)	「古道小坂坂峠道親子ハイキング」のガイド	運営を手伝っていただける方は、自然史館にご連絡ください。
8/14(金)	こんにゃく夏祭りへの出展	
8/20(木) 6:30～7:15(早朝)	青岩公園ほかの清掃美化活動	集合場所:青岩公園　(川井の断層などに分かれて、作業を行うこともあります。ゴミ袋などは用意します)
19:00～	救急救命講習会	参加申し込み･問い合わせは、自然史館にお願いします。

活動報告　(6/13～7/15)

あじさい祭りの開催前には、紫陽花を育てる会の皆さんとの草刈りをはじめ、国道沿線などで清掃美化活動を、開催中には、来場された方々への御案内をさせていただきました。

【季節の話題】盆花取り

今年は、戦後70年の節目の年になります。

お盆にお供えする盆花(キキョウ、オミナエシ等)取りは、子どもたちの仕事でした。いま野山に行っても、その姿は全くみられません。

原因は、生息地の環境が変わったことです。

キキョウ、オミナエシは、県の絶滅危惧種です。

ジオパークで
地域に活力を!!

ジオパーク推進だより

下仁田町自然史館
下仁田町大字青倉158-1
☎70-3070 FAX67-5315
http://www.shimonita-geopark.jp/

ジオの日制定

多くの住民がジオパークに関心を持っていただき、理解を深めるため今月から、ジオの語呂を取って毎月20日を「下仁田ジオパークの日」と指定いたしました。

行事予定

○群馬県庁観光展示

群馬県庁31階観光展示室に下仁田町が出展中です。展示は8月19日まで開催中です。下仁田の山や荒船風穴、ジオパークなど盛りだくさんの内容の展示です。前橋に御用の際はお立ち寄りください。

行事報告

■下仁田中学校　ふるさと学習

「下仁田の大地」の学習の中で6月22日(月)、下仁田自然学校の保科先生の講義のもと、川原の石から大地の成り立ちを読み取る学習に取り組みました。

参加者は特に、稲含や小沢岳を作るチャートを使った火打石の実演や火山でできた石が磁石につくことに、感動を覚え、楽しみながら実習に取り組んでくれました。

■あじさい祭り

あじさいの会の管理するあじさい園で6月20日(土)～7月10日(金)あじさい祭りが開催され、今年も多くの方に来場いただきました。園内では、臨時の観光案内所を設置し、日本ジオパーク下仁田応援団によるジオパークのPRも行なわれ、多くの方にジオパークのことを知ってもらうことができました。あじさいの会のみなさま、日本ジオパーク下仁田応援団のみなさま、おつかれさまでした。

■妙義山登山道整備

妙義山で中之岳山岳会による登山道整備が行なわれ、日本ジオパーク下仁田応援団の皆さんも参加し、登山道中のゴミ拾いや、草刈りなどが行なわれました。

今回の整備のおかげでこれまで木で覆われて見えなかった石門が見やすくなりました。この場を借りてお礼申し上げます。

ネギとコンニャク・ジオパーク

群馬の夏は雷に注意!

とつぜん黒い雲が出てきて、土砂降りの雷雨なんてことが夏になると増えてきますね。群馬県は夏の雷雨が特に多い地域です。雷の多さは群馬ではおなじみ、上毛カルタでも詠われているほどです。群馬県で夏に雷雨が多いのは、その地形に理由があります。群馬県は東･北･西の三方を山に囲まれ、南東部は関東平野が広がっています。南東から風が吹いてくると、風が山にぶつかって雲になります。この南東から吹く風は湿っているので、大きな雲を作り、激しい雷雨を降らせるのです。このように、地形は気候の特徴を作る要素の一つになっています。身の回りの大地のことをよく知り、安全･安心な生活を送りましょう。

※下仁田町自然史館では、午前9時～午後4時まで展示室を開放しています、ぜひお出かけください。※8月の休館日は3日･17日です

問合せ先　産業観光課 観光振興係(下仁田町自然史館)　☎70-3070